

1 年	算数	たしざん	学習活動分類 B
-----	----	------	----------

単元計画

1 たしざん

第1時	9 + 4 の計算	1 位数と 1 位数をたして、和が 11 以上になる加法の計算のしかた（加数分解）を理解することができる。
第2時 (本時)	8 + 3 の計算	1 位数と 1 位数をたして、和が 11 以上になる加法の計算の理解を深めることができる。
第3時	4 + 8 の計算	1 位数と 1 位数をたして、和が 11 以上になる加法の計算のしかた（被加数分解）を理解することができる。
第4時	計算の習熟	1 位数と 1 位数をたして、和が 11 以上になる加法の計算に習熟することができる。

2 たしざんカード

3 まとめのれんしゅう

本時

1 ねらい

被加数が 8 や 7 の場合も、前時の被加数が 9 の場合と同じように考え、計算のしかたを説明したり、正しく計算したりすることができる。

2 概要

本時では、前時をもとに被加数が 8 や 7 の場合も同じように考え、その計算のしかたを説明できるようにする。手順をブロック操作と関連付けて学習することで、加数分解による計算についての理解を深めていきたい。

3 教材・教具(アンプラグド)

計算ブロック、ワークシート

展開

学習内容・活動	留意点・評価
1 課題をつかむ 8 + 3 のけいさんのしかたをせつめいしよう。	○前時の 9 + 4 の計算のしかたを復習する。 ○説明の書き方を確認する。
2 見通しを立てる	○説明ができたペアには、相手の説明を聞いてブロックを操作し、正しく計算できるのかを確かめるようにする。
3 計算のしかたを説明する ・個人で取り組む。 ・ペアで取り組む。 ・全体で確認する。	○8 + 3 ができたペアには、7 + 5 の計算などに取り組むようにする。 10 のまとまりをつくることに着目して考え、計算のしかたを説明することができる。 (数学的な考え方 ワークシート)
4 まとめる 8 + 3 のけいさんも、10 をつくってけいさんする。	○8 はあといくつで 10 になるのか、どうして 3 を 2 と 1 にわけるとかなど、根拠となる考えを大切に扱いながら、ブロック操作と関連付けてまとめるようにする。
5 適用問題を解く	
6 振り返る	

板書例

9 + 4 のけいさん

① 8 + 3 のけいさんのしかたを
せつめいしよう。

② 10 のまとまりをつかってけいさんする。

③ ① 7 + 6
② 8 + 4
③ 8 + 5

④ ① 10をつくる
② 8はあと2で10

⑤ ① 10をつかってけいさんすることが
わかった。
② 10をつくるとかんたんにけいさんできた。
③ 6のたしざんもおなじようにできそう。

9は あと1で 10
↓
4を 1と3に わける
9と1をたして 10
10と3をたして 13

8は あと2で 10
↓
3を 2と1に わける
8と2をたして 10
10と1をたして 11

8 + 3
2 1

プログラミング例

指導のポイント

1 8 + 3 のけいさんのしかた

8は あと2で 10になる

3を 2と1に わける

8と2をたして 10

10と1をたして 11

2 7 + 5 のけいさんのしかた

7は あと3で 10になる

5を 3と2に わける

7と3をたして 10

10と2をたして 12

10のまとまりをつくることに着目して説明できるように、はじめに「8はあと□で10になる」という考えの根拠となるカードを使用します。

前時の9 + 4や、8 + 3、7 + 5などの説明を比べることで加数分解を行い10のまとまりをつかって計算することのよさを確認します。

実践を振り返って

プログラミング的にまとめることで、加数分解をする計算方法の理解を深めることができた。被加数分解をする計算方法についても、同様にまとめることで理解が深まることが期待される。

